

令和元年度 藤が丘小学校重点研究 全体計画

1 研究主題

研究主題

ひびき合い、高め合い、できる喜びを得られる子どもの育成
～問題を自ら見出し、対話を通して考えを深めるふじっ子へ！～

2 研究主題設定の理由

新学習指導要領に示される「生きる力」に不可欠な資質・能力を育成するために
「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善が必要とされています。

▪ 「主体的な学び」

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学びの実現。

▪ 「対話的な学び」

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学びの実現。

▪ 「深い学び」

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学びの実現。

(中央教育審議会の答申)

この重要なキーワードを踏まえた上で、学校教育目標「ひびき合い 共によりよく生きる」また、谷本中ブロックスローガンにある「自分を認め、相手を認め」を達成することを目指していきたい。また、本校職員で行ったワークショップにおいて、学校教育目標達成のための『育てたい力』（ぐるぐる）の上位にも、「自分で課題を見付け、よりよい社会に向けて解決に向かう力」「好きなことをとことん追求していく力」「協力して問題を解決していく力」が挙げられています。

学ぶことに興味・関心をもつことで、自ら問題を見だし、友達や教師等との対話を通じて自分の考えを広げ、解決策を考える学習を積み重ねていくことによって、学校教育目標達成に近づくのではないかと考え設定に至った。

これらの子どもの姿を目指した授業研究・授業改善を行い、確かな学力向上を図っていく。

3 研究の内容

(1) 研究テーマ達成のための公開授業

昨年度までに作成された年間カリキュラム（単元配列表）を検証しながら、各学年で計画的な指導をしていく。そのうちの1単位時間以上の授業を公開していく。

- ・新指導要領改訂のポイントを踏まえ、学習を展開していく。
- ・小中9年間の系統性をとらえ、その中での位置付けを明らかにしていく。
- ・「問題解決的な学習」「対話的な学習」を意識して授業を組み立てる。

(2) 藤が丘小学校のカリキュラムマネジメント

○昨年度までに作成された年間カリキュラム（単元配列表）を検証しながら、よりよいものにアップデートしていく。

- ・時数を明らかにする。
- ・系統性がわかるようにする
- ・具体性をもたせる

4 研究の方法

(1) 研究テーマ達成のための公開授業

① 各学年一人以上が研究授業を行う。

- ・年間、授業研究会を4回（5回）行う。

② 研究授業に至るまでには、授業者のみならず学年（ブロック）全体で、指導案検討ならびに事前研を行い、授業に臨むようにする。

③ 低（1・2・3）学年・個別支援部会、高（4・5・6）学年部会を設置し、部会ごとに指導案検討をする。ただし第2回、第3回は奇数（1・3・5）学年部会と偶数（2・4・6）学年部会に分けて行う。

④ 授業後の研究会は、会議室で行う。全員が集まり討議の視点を確認した後、部会ごとに分かれて協議を行う。講師の先生が複数来てくださる際には、講師との話合いで実技研修などを伴うなど、協議の場所も変更となる場合もある。

※ 指導案は事前に講師の先生に送るため、授業研究会の10日前までに作成し、講師の先生の数十部（校長先生・副校長先生・安達・松浦）印刷する。授業研究会では、2日前までに指導案を40部印刷し、配布する。

⑤ 重点研の日以外でも、積極的に公開授業を行い、研鑽し合う。その場合、ミライムを有効利用する。

(2) 藤が丘小学校のカリキュラムマネジメント

① 学年別の単元配列表を実際に使える形になるように、推進委員を中心に時数を入れたり、系統性を明らかにしたりしながら、よりよいものにしていく。（作業日を確保する）

② 学年別の単元配列表をもとに、各教科の単元配列表を作成する。

③ 単元配列表に位置づけられた授業の資料となるもの（指導案・ワークシート・掲示物等）を

サーバー上のフォルダに蓄積していく。(単元配列表からリンクするように推進委員で設定していく。)

5 研究組織

【全体会】

- 研究の方向性について、全教職員で確認し、共通理解を図るとともに、研究の共有化を図る。
- 授業研究会当日は、事前の部会指導案検討で課題となったことを全体化する。
また、講師の先生の紹介と全体的な指導講評を受ける。

【部会】

- 教材研究、指導案検討および実践事例研究を通して研究を深める。
- 今年度は、複数教科での研究会になるため、部会を上記(4の(1)③)に示したように、2通りの部会のパターンで行う。ただし、その中でも教科主任を他の部会に派遣するなど、協議の深まる方向で回ごとにメンバーを構成する。

【推進委員会】

- 重点研究がより深められるように企画・立案・運営をし、研究の推進を図る。また、部会の研究における諸種の成果や課題について検討し、全体会に提案することにより研究の共有化を推進する。
- 本校カリキュラムの作成を推進する。

8 その他

(1) 推進委員会運営分担表

回	月 日	主な内容	司会	記録
1	4月 8日(月)	31年度重点研究計画案検討		
2	4月23日(火)	31年度重点研究計画案検討 全体会		
3	5月27日(月)	授業研の進め方 指導案書き方		
4	6月 7日(金)	カリ作成について 第1回授業研確認		
5	7月 2日(火)	カリ作成作業日 第2回授業研確認		
6	9月20日(金)	カリ作成作業日 第3回授業研確認		
7	10月25日(金)	カリ作成作業日 第4回授業研確認		
8	11月 8日(金)	カリ作成作業日		
9	12月20日(金)	カリ作成作業日		
10	1月10日(金)	カリ作成作業日 第5回授業研確認		
11	1月28日(火)	研究のまとめについて		
12	2月21日(金)	研究のまとめについての最終確認 来年度の研究について		
13	3月13日(金)	研究のまとめと来年度の研究について 全体会		

(2) 推進委員会役割分担

役割・仕事		担当者
全体	研究テーマ・研究内容の作成	
	研究計画・推進委員会資料作成	
授業研究会	・授業研究会運営分担表の作成	
	・授業会場の調整・準備・式次第作成	
	・講師依頼状作成、発送 ・指導案発送	
	・お礼状作成、発送	
	・講師案内・誘導	
	・指導案の表紙作成印刷	
	・講師用バインダー、ペン、便箋、指導案の用意	
	・講師用靴箱名札 用意・職員玄関立て看板の用意	
	・フォルダ管理（写真・指導案・考察）	
カリ作成部会	・カリ作成の計画立案・運営	
	・単元配列表（学年）アップデート	
	・単元配列表（教科）アップデート	
	・フォルダ管理（指導案・ワークシート・参考資料）	
	・情報収集	

授業写真記録：ブロックで授業を伴わない学年